

2011年8月8日

株式会社リコー
広報室
東京都中央区銀座8-13-1
リコービル 〒104-8222
Tel : (03)6278-5228(直通)
Fax : (03)3543-8126
URL : <http://www.ricoh.co.jp/>

被災地で救済された写真やアルバムをデジタル化しお渡しする復興支援活動
「セーブ・ザ・メモリー プロジェクト」を開始

株式会社リコー(社長執行役員：近藤史朗)は、東日本大震災における被災地の復興支援の一環として、各地方自治体と連携し、地震や津波により被災した写真やアルバムを洗浄しデジタル化をして写真原本とともに被災者にお渡しする「セーブ・ザ・メモリー プロジェクト」を立ち上げ、活動を開始いたしました。

今回の震災では、被災された方々の思い出の詰まった写真やアルバムなどの貴重な品々を、可能な限り被災者の皆様にお戻ししたいという思いから、各地方自治体や多くの NPO、ボランティア団体、企業等が被災地で救済活動を行なっています。

リコーはそれらの活動と連携し、地方自治体が回収・洗浄した写真を、複合機でデジタル化する作業を行ないます。さらに、デジタル化した写真データを、当社が提供するオンラインストレージサービス(クラウド)の「クオンプ」に保管し(*1)、各自治体を通して写真とそのデータをお手元にお届けすることを目指します。今回、富士通株式会社からご賛同いただき、各地方自治体が管理する写真引き渡し所において、写真検索用パソコンをご提供いただきます。

本プロジェクトは、宮城県南三陸町(*2)、岩手県陸前高田市(*3)で活動をスタートさせ、今後さらに他の地域でも展開していく予定です。

また、リコーグループでは、8月9日～9月10日の5週間にわたり、輪番制夏休み等を利用して、グループ社員95名が陸前高田市でボランティア活動に参加します。写真をはじめ回収品の分類・整理を行なうなど、本プロジェクトとも連携していきます。

リコーグループは、今後も被災された方々のお役に立てるような復興支援活動を続けてまいります。

- (*1) 写真をデジタル化し、リコーが運営するデータセンターで保管(クラウド化)することにより、再び写真を失う心配がなくなります。また、自分のデータはパソコンや携帯電話、スマートフォン等で、時間と場所を問わず閲覧でき、簡単に家族や友人と共有することもできます。
- (*2) 宮城県南三陸町においては、社会福祉法人 南三陸町社会福祉協議会が中心となり、写真を洗浄し、持ち主にお返しする活動を行っています。
- (*3) 岩手県陸前高田市では、写真を洗浄し、持ち主にお返しする「思い出の品」返却活動を行っています。

セーブ・ザ・メモリー プロジェクトについて：<http://savethememory.jp/>
クオンプについて：<http://www.quanp.com/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社リコー 広報室 Tel : 03-6278-5228 e-mail : koho@ricoh.co.jp